広報あいかわ

発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
合川町公民館
（役場総務課 T 4
公民館 T 44）

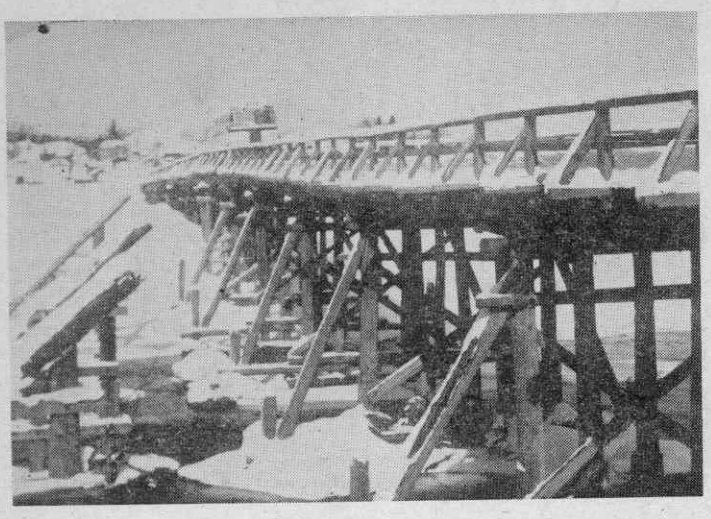
三里橋新年度に着工

二ヵ年の継続工事模様

町内三里地内にかかる県道三里橋の永久橋架替工事が、いよいよ昭和三十六年度に着工されることが確実となった。

三里橋は、資材の極端に乏しかった終戦直後の昭和二十一年に架設された木橋で、その後たびかさなる水害にあい、数回にわたり流失し、そのつど局部的な補修を行なって交通の確保をはかってきたが、最近は腐朽もはなはだしくなり、三トンの重量制限をして辛じて通行はしているものの、車馬の通行は危険な状態となっているもの。

町では、堂川、合川、鷹巣線は、地域の経済開発に重要であるばかりでなく、交通、教育文化などに及ぼす影響が大きい重要路線であるとろから、上小阿仁村とていけいし、去る三十四年五月小阿仁川水系利用開発同盟会を結成、同路線の木橋、三里橋、鎌沢橋の両橋を永久橋に架替するよう促進運動を展開し、三十五年三月には、三里橋架替促進期成同盟会（会長＝石田博英代議士、副会長＝小林大二郎県議、合川、上小阿仁両町村長、議会議長）を結成、三里橋の永久橋化を早期に実現する促進運動を強力に関係方面にはたらきかけてきたもので、このほど関係筋の内通により、国の昭和三十六年予算に計上され、本国会で審議されているので新年度の着工が確実となったもので、工事は二ヵ年の継続となる模様である。



【写真＝着工を待つ三里橋】

執務時間変更

三月一日から

去る十一月一日から実施していた役場の冬期執務時間は二月末日をもつて終り三月一日から平常の執務時間に復すことになります。

なお、三月一日からの執務時間は次のとおりです。

▽執務時間
午前八時三十分から午後五時十五分まで。

▽休けい時間
午後零時十五分から午後一時まで。

▽その他
土曜日は午前八時三十分から午後零時十五分まで

固定資産課税台帳の縦覧

3月1日から20日まで

三月一日から二十日までの間、固定資産課税台帳を縦覧に供することになつた。

昭和三十六年度は地方税法による固定資産の評価基準年度にあたつており、このことは固定資産税の算出基礎になる土地、家屋、償却資産等について適正な時価に対応した評価がえをすることであり、家屋については昨年九月一日から十月二十日までに、個々の実態を調査し評価がえを行なつたのである。

この縦覧に供される課税台帳によつて昭和三十六年度以降の固定資産税が賦課されることになりますので、もれなくご覧になつて下さい。

なお、この期間中は閲覧料が無料ですからご遠慮なく。

町内各校の卒業式

町内各小中学校の卒業式日程が次のとおりきまつた

◇東小学校＝三月十八日
◇西小学校＝同
◇南小学校＝三月十九日
◇北小学校＝三月十八日
◇合川中学校＝三月十六日
◇東中学校＝三月十四日

協業の先進地（金浦）へ

金田君を派遣

町では、これからの新しい農業経営は、協業または共同化の経営という方向にあるとこころから、県内の協業、共同経営を行なつて効果をあげている先進地へ実習生を派遣する計画を進めていたところ、由利郡金浦町赤石畜産振興組合へ金田俊一君（一八、摩当仁一郎長男）を派遣することになり去る十日現地へ出発した。

赤石畜産振興組合とは、（代表者伊藤金治郎氏）会員六人からなり、昭和三十三年から養豚の協業経営を行ない、昨年三月には養鶏部門もはじめ、現在は豚十四頭、妊娠豚一頭、産卵鶏三百羽、大雛三百羽を有し二月十四日から三月までは三千羽の育雛も行なつている。

一方の水田部門は苗代の集団を行ない、耕運機三台の共同管理、協業組織を準備している組合である。

金田君は、四月上旬までに畜産部門の実際的協業、またこれから行なおうとしている水田部門の協業などを身をもつて実習することになつている。

全国青年研究集会へ参加

和田チヤさん

一月二十八日から三十日まで横手市で開かれた全県青年研究集会へ参加した当町連合青年会代表和田チヤさん（上杉）は、来る二月二十四日から二十七日までの四日間、東京の青年会館で開かれる全国青年研究集会へ県代表として出席することになつた。

この集会は、青年運動の一年の歩みを持ち寄り、生活の問題や社会の問題のとらえ方、実践の進め方について話し合い、団体活動のすじみちを確め合うとともに、お互が人間的結びつきを強め、新しい町づくりの中核としての決意と団結を固めることにあり、五部門一七分科会に別れている。

和田さんは第一部門「青年の生活」第一分科会「農山村のくらしの問題」へ〃国内研修から学ぶもの〃と題して参加するわけでその活躍が期待される。

羽根山の災害復旧工事

佐藤組（木戸石）に落札

町では去る十五日土木経済委員会を開き、昨年八月の水害による羽根山沢右岸（羽根山字悪土）の災害復旧工事について協議し入札を行なつた結果、五十七万円で佐藤組（木戸石）に落札した。

この工事は延長六一米にわたり蛇籠工法をもつて、三月末日までに完成することになつている。

ご芳志に感謝

―社会福祉協議会―

＜その一＞
合川町役場経済課長柴田勝直氏は過日病気入院のときの見舞い返礼として金二千円也をご寄付くだされた

＜その二＞
合川町駅前中央通町内会一同は、困窮者救援の資金にと金三千百円也をご寄附くだされた。

＜その三＞
駅前吉尾未次氏は、妻ヨシさんの忌明にあたり香典返しとして金千円也をご寄附くだされた。

作業員を募集

寄署林名営

北海道名寄営林署では今後四十年ぐらいの継続で造材植林事業を計画、その作業員を募集しています。

この事業が長期にわたる

シイタケ ナメコ 種菌のあつ旋

合川町森林組合では、シイタケ、ナメコ種菌の斡旋をすることになつた。シイタケ、ナメコは農山村の副業として有利なもので、全くの素人でも失敗することなく栽培ができます。そろそろ種菌の発注の時期になつたので、必要な方は次のことがらを検討の上申込み下さい。

▽品種（春季発生、春秋二期発生、秋季発生等）
▽注文駒数（森式の場合）

種駒はなるべく多い目の方がよい。

▽原木の種類ナラ、クリ
▽その他の詳細については森林組合（電話、合川一七七）にお問合せ下さい。

原木の長さ	末口の直径				
	三寸五分	三寸	四寸	五寸	六寸	七寸
三尺	六個	七〃	八〃	九〃	一〇〃	一一〃
四尺	七	八	九	一〇	一一	一二

ご入学おめでとう

ことしの新入生 完

ことしの四月、町内各小学校へ入学する予定の人々は次のとおりですが、調査もれがないとも限りませんのでこの名簿にのつていなくとも、該当する人（昭和二十九年四月二日から三十年四月一日までに生れた方）がありましたら保護者の方から当委員会へ申し出てください。

合川町教育委員会
電話四四番

◇南小学校

（杉山田）
伊東篤、杉淵京子、伊藤りつ子、伊藤百合子、伊藤祥子

（雪田）
山岡八千代、山岡睦子、山岡優子、杉淵田鶴子

（鎌沢）
鈴木倫明、御所野春美、加藤明、福田三男、加藤さみ子、鈴木花子、鈴木真紀子、御所野和幸、加藤容子

（三木田）
三浦真理子、相馬良、三浦柴田等、三浦貞美、畑山久子、三浦昭彦

（摩当）
金田真樹子、金田久子

（三里）
松橋博徳、福岡まつ子、松橋晃、福岡瑞良、越川和光、松橋一志、福岡春美

（芹沢）
土濃塚政博、土濃塚一、土濃塚金悦、土濃塚広孝、桜庭良子、桜庭美和子、土濃塚博雄、土濃塚春美

◇北小学校

（八幡岱）
藤田竹広、伊勢作雄、高橋潤子、藤田義成、高橋美奈子、高橋和久、高橋寿子、藤島久子、松橋洋子、藤島昭一、高橋牧子、藤島美子、沢藤銀蔵、畠山忠一、佐藤利夫、畠山八重子、藤島康昌、高橋久、小野和広、杉淵昌子、村岡淳子、藤島民子、藤島重子、藤島嘉幸、畠山良子、佐藤真和子、藤島幹子、中村陽子、伊藤和代

（増沢）
奈良田鶴子、加賀邦子、奈良美智子、小笠原ふみ子、安部幹子、奈良悦子、小笠原民子、奈良米子、杉淵誠子、小笠原辰美、杉淵友夫、杉淵俊美、小笠原和弘、杉淵睦子、杉淵多恵子、杉淵良子、杉淵敏子、奈良博

（木戸石）

メモ 町政

2月2日　農業団体連絡協議会開く
3日　自創資金借入申請の調査
6日　合川町商工会設立総会
7日　公民館婦人協議会
10日　教育委員会、消防機構整備審議会開く
11日　三里橋永久橋架替予算一、八〇〇万円措置された旨入電、遺族会青年部結成大会、阿仁部教育長会議
13日　農業共同化研究会
14日　商工会の理事会、国保運営協議会
15日　災害復旧工事入札
16日　農業委員会
17日　保健衛生の打合せ会
18日　消防機構整備審議会

畠山定之助氏

（元教育委員長）

病気療養中のところ一日午後九時三十分木戸石の自宅で死去された。当年七十三才。氏は昭和二十二年四月旧下大野村議会副議長、同二十五年一月には議長となる。二十七年十一月旧下大野村教育委員となり三十一年から三十三年九月任期満了までは委員長をつとめるなど地方自治、教育の振興に尽力された。

なお葬儀は三日午後一時から自宅で行なわれた。

消防機構の整備を答申

―五カ年計画で具体化―

町の消防機構の整備等について町長から諮問されていた消防機構整備審議会（会長＝工藤文之助氏）では数回の審議のうえ十九日最終会議を開き、次のように答申案をまとめ、答申することになった。

◇機構整備に関する基本構想

消防は町の責任において住民の生命財産を保護するため、水火災等を予防鎮圧する機能を備えるべきでものであり、実質的に組織のもとに責任に応じているがここ連年大小水火災が頻発し、損害を累積している現状であるので、これに対処する消防施設の整備、消防団の組織運営等について根本的な検討を加え、その機能発揮について十分に達成しうる如く、かつ将来において近代消防の姿に急迫するため町の行政の実情と財政の規模に適合せしめて可能の範囲において今後改善すべき諸点を結論した。

◇機構整備に関する具体的事項

▽消防団の組織編成

①合川町発足以来消防団の組織編成はいつ早く旧村各団を新編成し、分団制を採用、団員定数三六〇人を三一〇人としたが、団の統率活動について規律と団結連絡を強化し、機能を発揮するための指揮系統を充実せしめるには現在の幹部組織の再検討を必要とする。

②消防活動の現状からみて、実質的な動員は定数を大巾に下回ると推定されるこのことは非常勤であり、生活及び身分の完全保障がめ税務署から通知を受けている人達は次のことがらを留意してご相談に応じて下さい。（町財政課）

◇相談日

二月二十八日＝役場会議室東、西、北地区農業所得者

三月二日＝役場会議室東、西、北地区営業所得者

三月六日＝南支所、南地区所得者

◇申告にあたり携行資料

イ、印鑑

ロ、証明書類＝電気工事費は配電会社の証明書

◇その他

関係事項については大館税務署係官が説明することになっている。

①現在配置の消防車四台のうち三台は既に耐用年限に対し、修理費も大きくその機能が十分に発揮されない現状であり、町の規模からみても四台の自動車の維持は負担に比して効果的でないと思われるので、次の点で概ね五カ年以内で整備

ア、旧車三台を廃止、新車一台を贈入し役場前に配置すること。

イ、常時の自動車整備と非常の際迅速適確な出動態勢を保持するため町職員をもって本務、または兼務する運転者及び、半常勤的な自動車要員を置くこと。

ウ、各部落を単位とし、部落自衛を主とする小型動力ポンプを年次計画をもって配置すること。

▽その他

①全般的に消防水利の不

備が大きく指摘されるが、この整備は町財政力の窮屈な現状から改善は地元を主体としつつ農業水利道路整備等を合せて町が指導助成を行なうことを適当とする

②消防信号の伝達通報の確実迅速を図り併せてポンプホースの乾燥施設として町内要所に鉄塔の建設を必要とすること。

③町民の防火思想の普及徹底を図り、火災予防条例によって予防の拡大措置をすること。

▽消防施設の整備

春遠からず

ことしは厳しい寒さ，近年にない大雪，それでも2月の声とともにやわらいだ日ざしに何んとなく春を思わせる。この月は春へ近よる準備の月，2月は逃げるともいわれ，春遠からずの感ひとしおである。

【写真＝東保育所の豆まき風景】

所得税の申告と納税は

3・15 証明書類を準備

昭和三十五年度の所得税確定申告は三月十五日までとなっているが、あらかじ

農業共済組合の共済掛金、苗代の油紙代受領書、耕運機の所有証明書（役場で準備）医療費の領収書、生命保険等の領収書

新入生をもつ家庭へ

こんど新らしく小学一年生になるお子さんを持つ家庭では、喜びの入学の日を指折り数えて待っていることでしょうが、大切な子どもの第一歩を誤らないよう保護者はいろいろ注意しなければなりませんが、次のことには特に意をそそぐことが大切です。

今春はじめて学校という集団生活にはいる子供にとって、広い社会での生活は非常に大きなしげきであり負担でもある。

ことに、これまでわがままいっぱいに育てられた子供や、独り子、神経質な子、内気な子などには一層強い影響を及ぼすことになりますから、就学後楽しく学校生活ができるよう、今のうちから少しずつ集団生活や友づき合いになれさせ、自信をつけてやること。

またあまりやかましくすぎて学校をこわがらせないことも肝心で、学校に対する子供の期待を明るくしてやれるよう家庭内におおらかなふん囲気をつくるようにしたいものです。

またこうした精神的な面での注意とともに、偏食ぐせの矯正、衛生的な習慣づけなどについても積極的な親の配慮が望ましいものです。

合川町商工会が発足

当面の主力 経営の合理化に

商工会の設立総会が六日午後一時から役場会議室で開かれ、設立準備委員会から経過の説明があつて、これを了承。合川町商工会定欵、職員服務給与規程、三十五年度事業計画などを審議決定し、二百七名会員の経営の合理化によつて基盤造成をはかる具体的な活動がはじめられることとなった。

役員には次のとおり選ばれた。

▽会長　庄司修一

▽副会長　福岡与左衛門、武石政治

▽理事　西村哲郎、村形市三郎、三浦富吉、杉淵四郎治、福岡正吾、後藤一俊、桜田昭一、木村喜太郎、工藤久男、木村信一郎、伊藤本三、岩沢徳松、小笠原進一、成田織治、杉淵忠治郎、畠山宇三郎、村形四郎治

▽監事　工藤和三郎、山岡清助、松岡良助

納税貯蓄組合結成

鎌沢などに

町では税金を納める人達が納得のうえで少しでも有利になるように……と納税貯蓄組合の結成を呼びかけていますが、このほど次の四組合が結成された。

これで町内の納税組合は四〇組合、六七五人の組合員となりその納税額七百二十万円に達しており、町政の運用に大きく貢献している。

◇雪田納税貯蓄組合

組合長＝山岡清助

副組合長＝山岡芳松

組合員＝山岩多郎右衛門、山岡樹郎、山岡佐五郎、伊藤福司、山岡菊蔵、伊藤貞治、山岡隆一、山岡豊吉、片岡重治、伊東宗雄

計　十二名

◇鎌沢第一納税貯蓄組合

組合長＝福岡富松

副組合長＝鈴木一郎

組合員＝福田一衛、加藤喜一郎、福田淳造、福田文治、鈴木五郎、加藤喜七郎、鈴木貞助、鈴木儀三郎、岸田孝一、岸田孝二、加藤易五郎、岸田金兵衛、杉淵綬造、鈴木武鈴木忠蔵、加藤政治郎、福田金蔵、鈴木与市、鈴木茂、福田繁治、鈴木鉄治

計　二十三名

◇鎌沢第二納税貯蓄組合

組合長＝西村哲郎

副組合長＝御所野一男

組合員＝田中賢一郎、御所野長三郎、鈴木久一、加藤鉄雄、加藤運悦、加藤淳次、福田与八郎、福田富治、御所野清吉、鈴木利八、鈴木孫右衛門、鈴木力蔵、本間四郎兵衛鈴木政五郎、加藤スエ、

計　一七名

◇鎌沢第三納税貯蓄組合

組合長＝加藤末吉

副組合長＝加藤正三

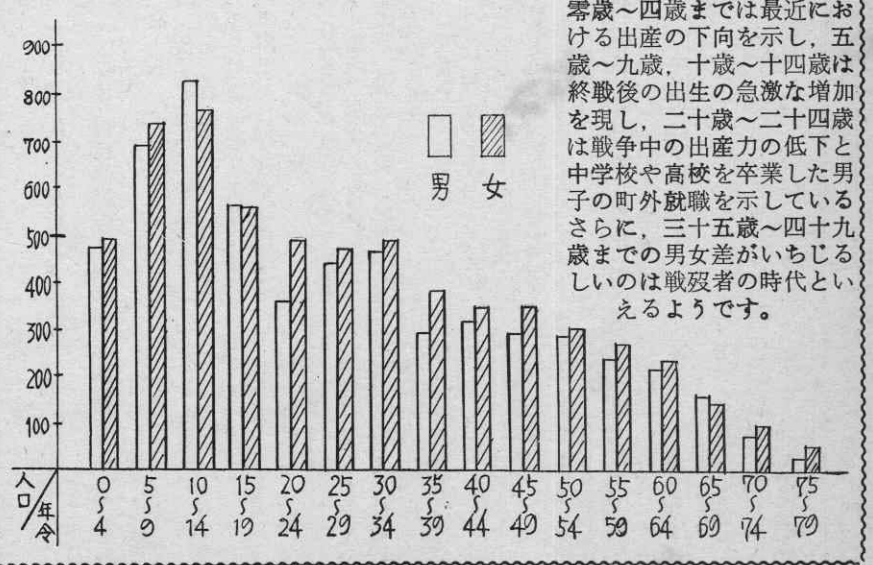
組合員＝福田勇一、福田由蔵、加藤寛造、鈴木為治、鈴木利助、加藤慶五郎、伊藤武、田中金蔵、加藤俊造、加藤正、御所野伍郎、福田市郎、加藤喜代治、加藤作造、加藤宇吉、加藤鶴松、

計　十八名

（四組合、合計七十人）

グラフで見る合川町

① 年令別の人口構成



調査年令とる国勢のもとに昨年の十月行なった人口調べるこの次の男女別構成をつぎのようなグラフができることは総体のグラフでわかることは男女比では女が四九人多いのに四十歳～四十四歳までの男女比が逆に六人男が多く注目される。

一方出産力の傾向をみると零歳～四歳までは最近における出産の下向を示し，五歳～九歳，十歳～十四歳は終戦後の出生の急激な増加を現し，二十歳～二十四歳は戦争中の出産力の低下と中学校や高校を卒業した男子の町外就職を示している。さらに，三十五歳～四十九歳までは男女差がいちじるしいのは戦歿者の時代といえるようです。

慶弔だより

（自一月一日　至三十一日）

出生（十八名）

和田恵子、上杉、良男長女
和田貞子、上杉、良男二女
工藤厚子、上杉、与市郎孫
関知満、上杉、留五郎、孫
関繁規、上杉、松五郎、孫
後藤京子、上杉、慶治、孫
斎藤公咲、下杉理喜郎二男
佐藤比奈子木戸石甚太郎孫
小笠原景子、増沢多一郎孫
金田勝彦、羽根山謙吉二男
鈴木ひな子、福田一美長女
中島富士子、新田目直吉孫
斎藤朱美、新田目、昇長女
斎藤学、新田目東一郎長男
伊藤勝治、杉山田留二二男
山岡智敏、雪田、菊蔵、孫
田中淳子、鎌沢、金蔵、孫
金田敬寛、西根田、清助孫

死亡（十一名）

関タケ、上杉、克正、祖母
和田貞子、上杉、良男二女
佐藤義則、木戸石、直吉孫
畠山三吉、木戸石、本人
吉尾ヨシ、駅前、末次、妻
杉淵マツノ、増沢寅五郎妻
高橋ヒサ、八幡岱勘四郎姉
庄司長吉、李岱、本人
松岡貞蔵、羽根山、本人
福田与七、鎌沢、織之助父
三浦ツル、三木田、小八母

あとがき

◇ことしの冬は連続的な猛吹雪、近年まれな大雪、インフルエンザの猛威のため学級休校のでる始末

◇それでも二月も下旬、陽光なんとなく春を想わせ春近き感あり。

◇三里橋の永久橋架替三十六年度着工が確実となり町内幹線道路の木橋は鎌沢橋のみとなる。

（広報係、松橋主事補）